

都市再生整備計画(第2回変更)

白峰地区(第二期)

石川県 白山市

平成31年1月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	石川県	市町村名	白山市	地区名	白峰地区(第二期)	面積	21.7 ha
計画期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度	交付期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度				

目標
【大目標】 白山市白峰地区の活性化を図るため、重要伝統的建造物群保存地区(H24.7選定)を核とした地域資源を活用し、来訪者をまちなかへ誘導するためのまちづくり
 目標1:『まちなかの回遊性の向上』・・・安全・快適・魅力的な道路空間の創出により、まちなかの回遊性の向上を図る。
 目標2:『交流人口の増加』・・・白峰地区の地域資源を活かして魅力を高めるとともに、アクセス性を向上させることにより、交流人口の増加を図る。
 目標3:『まちづくり活動の活性化』・・・地区住民が主体となった取組みや情報発信を行い、まちづくり活動の活性化を図る。

目次 平成31年1月
 まちづくりの経緯及び現況
【地区現況】
 白峰地区は、雪峰白山の玄関口であり、かつては山岳修業の霊場として修行僧や行者で活気を呈していた。また、寛文8年(1668)には、白峰地区を含む白山麓18か村が天領(幕府直轄地)であった。
 本地区は、平成24年7月に国の重要伝統的建造物群保存地区(以下「重伝建地区」という。)として選定を受けた。旧の庄屋である山岸家をはじめとして、日本屈指の豪雪地帯である自然と風土が作りあげた、独特の伝統的生活様式を残しており、これらの伝統的建造物群をはじめ、厳しい自然環境にある山村集落として、良好な歴史的風致が維持されている。そのような中、平成19年度から平成21年度にかけて、白峰地区(第1期)都市再生整備計画事業を活用し、「白峰温泉総湯」「特産品販売供給施設「菜さい」の整備や「雪だるままつり」やまち歩きマップの作成等により魅力向上を図り、来訪者数の増加等の一定の効果がみられた。この第1期では、基盤的な施設は整ったが、それら施設や伝統的町並みを散策するルート整備や街並み景観向上など、魅力的な地域資源を結ぶ環境整備や、観光情報の発信・PR不足等、アクセス性の向上も課題となっている。
 こうした課題を受け、白山市では平成25年8月に「白峰重要文化的建造物群保存地区観光誘客対策計画書」を立案し、白峰地区のさらなる来訪者増加と観光振興を図るため、同計画に基づいて今回第2期の都市再生整備計画を策定するものである。本事業を活用し、重伝建地区を核に、温泉や高山植物などの地域資源を回遊できる環境を整備するとともに、地区住民が主体となった取組みや情報発信などのまちづくり活動を活性化し、地域のおもてなし向上を図ることで、白峰の観光が産業としてさらに確立し、交流人口の増加を図り、白峰地区の賑わいを創出したい。

<人口>白山市の住基人口より、平成26年7月現在、地区人口は916人、世帯数は361世帯(2.54人/世帯)であり、平成18年(前回都市再生整備計画策定時1,132人)と比較すると、平成26年における人口は19.1ポイント減となっている。また、高齢化率は平成26年6月時点で39.2%まで増加している。
 <産業>国勢調査における産業別就業者割合の推移をみると、第1次産業と第2次産業の人口が減少傾向にある一方、第3次産業人口は増加傾向にある。事業所統計調査における産業別従業者数の割合の推移をみると、卸売業、小売業(29.3%)が最も多く、次いで宿泊業、飲食サービス業(22.0%)、建設業(14.6%)となっている。

【まちづくりの経緯】
 白峰地区は、平成19年度から3ヶ年かけて「都市再生整備計画事業」による地区の魅力向上を図る施設整備やソフト事業が展開され、平成24年7月には「重要伝統的建造物群保存地区」に選定を受けて伝統的な街並み景観の保全・活用を実施してきた。また、白峰地区のまちづくり団体と大学が連携して「雪だるままつり」をはじめとした各種イベントなど、まちづくり協議会などによる地域の団体の自主的な活動が行われている。

課題

- ・観光施設入込客数や宿泊者が年々減少している中、北陸新幹線の金沢開業を見据え、交流人口の増加を図るため、伝統的なまちなみ景観の保全・活用等により、街並み景観向上を図るとともに、利便性の高い公共交通機関の整備が必要である。
- ・白峰地区第1期により基盤的な施設は整ったが、魅力的な地域資源を結ぶ環境が不足していることから、まちなかの回遊性向上のため、安全かつ快適な道路空間の整備が必要である。
- ・地区の人口減少や高齢化の進行している中、まちなかの賑わい創出のため、地元住民のまちづくり活動への参加意識の向上や地元団体の連携・交流によるまちづくり活動の活発化が必要である。

将来ビジョン(中長期)
【白山市総合計画】景観に関しては、白峰などの歴史的景観を有する地域に対して、その保全や推進を支援し、周辺のまちなみとの調和のとれた建築物の誘導などを図り、良好な景観の保全と新しい都市景観の創出を目指すとしている。観光に関しては、自然や歴史、伝統文化などを体験し、地域住民とふれあい交流できる観光への転換の推進、農山村文化等の豊かな資源を生かした各種施策の推進、関連団体や市民などと連携を図り観光ガイドの充実、市民参加によるイベントの充実を図っている。
【白山市都市計画マスタープラン】観光・歴史資源を活用した交流の促進を図る地域として位置付けている。
【白峰重要文化的建造物群保存地区観光誘客対策計画書】白峰重伝建地区を核として、地域のおもてなし力の向上を図る「おもてなし計画(ソフト面)」、地域資源を生かした環境整備を図る「古まちなみ計画(ハード面)」を実施し、白峰の観光が産業としてさらに確率していくことを目的とし、白峰地区の住民有志により結成された白峰まちづくり協議会と協議・調整の上策定した。

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
休日のまちなか歩行者数	人/8h	無電柱化区間における休日1日(9-17時)当たりの歩行者数	無電柱化による安全・快適で魅力的な道路空間を創出し、地区周辺の回遊性を高めることにより、まちなかを散策する歩行者の増加を見込む。	136	H26	145	H31
白峰地区観光施設入込客数	人/年	白峰地区において主要な観光施設である以下の4施設の利用者数 「白峰温泉総湯」「菜さい」「雪だるまカフェ」「公開展示用家屋」	白峰地区の魅力を向上する施設の整備や受け入れ環境の充実を図ることにより、白峰地区の主要な観光施設の入込客数の増加を見込む。	117,868	H25	124,000	H31
地区祭りの参加者数	人/年	白峰地区において主要なイベントである以下の4イベントの参加者数 「若葉祭り」「白山まつり」「白山白峰温泉まつり」「雪だるままつり」	地元住民が主体となった取組みや情報発信を行うことにより、近年減少傾向にある白峰地区の主要イベントへの参加者数の現状維持を見込む。	13,600	H25	13,600	H31

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>●まちなか回遊性の向上 …歩行者の安全安心並びに快適性の確保と、地域の歴史文化に触れ合う機会を拡充するため、無電柱化を図る。 …来訪者の利便性を確保するため、主要地点にサインを整備する。 …来訪者の受け入れ環境を充実させるため、自動車駐車場及びトイレを整備する。</p>	<p>■基幹事業：白峰中央通線無電柱化 ■基幹事業：案内標識等改修 ■基幹事業：トイレ整備</p> <p>○関連事業：まちなか案内看板設置</p>
<p>●交流人口の増加 …地域の特性を活かした「うるおい空間」を創出するため、石積水路（ミンジャ）を整備する。 …住民並びに来訪者の交流を促すため、ポケットパーク及び憩いの施設（ベンチ等）を整備する。</p>	<p>■基幹事業：石積水路（ミンジャ）整備 ■基幹事業：ポケットパーク整備①(山岸家前) ■基幹事業：ポケットパーク整備②(地区入口) ■基幹事業：憩いの施設整備</p>
<p>●まちづくり活動の活性化 …地域住民・団体が主体となって実施する地域資源を活かした取り組みを支援する。</p>	<p>□提案事業：山岸家おもてなしガイドの育成</p> <p>○関連事業：山岸家パンフレットの作成 ○関連事業：白峰まち歩きマップの作成 ○関連事業：白峰まち歩き案内人・歓迎案内人の育成</p>

その他

【白峰地区の主要な地域資源】

- ①白峰温泉
湯上がりが「つやつや」肌となり、「絹肌の湯」ともいわれる透明重曹泉。
- ②白峰型住宅
単純な切妻大屋根の総2階建てで、それに下屋（玄関、仏壇仏間、縁、物置、流しなど）のついたものが基本的構造となる。壁面について、1階が板壁、2階が土壁という形は雄大で美しい。
- ③白山本堂
明治2年の神仏分離令により、白山頂上から降り林西寺に納められた。白山本地仏、国指定文化財の「銅造十一面観音菩薩立像」などがある。
- ④山岸家
江戸時代に幕府の直轄領として山林が保護されてきた白峰周辺十八ヵ村を束ねる大庄屋の旧家。ミンジャ（生活用水）や石垣など、伝統的街並みが残される。
- ⑤牛首袖
一説には平治の乱に敗れた源氏一族が白山麓白峰地方に逃れて地元民に教えたものといわれる伝統の糸造り、手織りのなから生まれる牛首袖（無形文化財）。
- ⑥若葉まつり
山菜の販売や山菜の天ぷら・岩魚の塩焼きなど春の味覚が並ぶテント市や、振る舞い餅つき、岩魚のつかみ取り、溪流釣りなどが催される。
- ⑦白山まつり
泰澄大師が白山を開山し、無事戻られたことを祝うお祭りと言いつづかれ、県指定無形民俗文化財のかんこ踊りが踊られる。
- ⑧温泉まつり
栗ご飯や岩魚の塩焼き、キノコ汁、キノコの販売など秋の味覚が並ぶテント市や、振る舞い餅つき、百万岩見学ツアーなどが催される。
- ⑨雪だるままつり
白峰地区・桑島地区において、各家が軒先に工夫を凝らせた雪だるまをつくり、蠟燭の灯りでライトアップするイベント。人口の約10倍の来訪者がある。
- ⑩八坂神社の奉納相撲
秋の恒例行事として100年以上の歴史を有する地域のまつり。
- ⑪報恩講料理
親鸞聖人（浄土真宗）に報恩のために行われる法会で出される料理。
- ⑫語り部
白峰地区の歴史・文化・民話を始め、数多くの体験談を語るグリーン・ツーリズムの認定体験指導者。

【地区住民の取り組み】

- ①NPO法人白峰まちづくり協議会
平成20年8月20日に住民有志によって発足し、白山市白峰地域に対して、住民の健康増進、交流事業及び中心市街地にぎわい創出事業を実施し、健康で活力ある地域づくりに寄与することを目的とする。「白峰温泉総湯」や「特産品販売供給施設：菜さい」やその他宿泊施設等の管理・運営、白峰地区の交流人口拡大を図るまちづくり活動等を実施している。
- ②白峰観光協会
白峰地区の伝統文化、温泉、自然環境などを連携させ、キャラクターやキャッチコピーなどを活用したイメージ宣伝による誘客活動、キャラクター人形の設置や散策モデルコースづくりなどのストーリー性を持たせた情報発信を行っている。
- ③NPO法人白山高山植物研究会
白峰地区の民家の軒先に高山植物を咲かせ、住民が白山の高山植物の保護活動に協力する「一門一苑事業」を行っている。

白峰地区の伝統的街並み景観

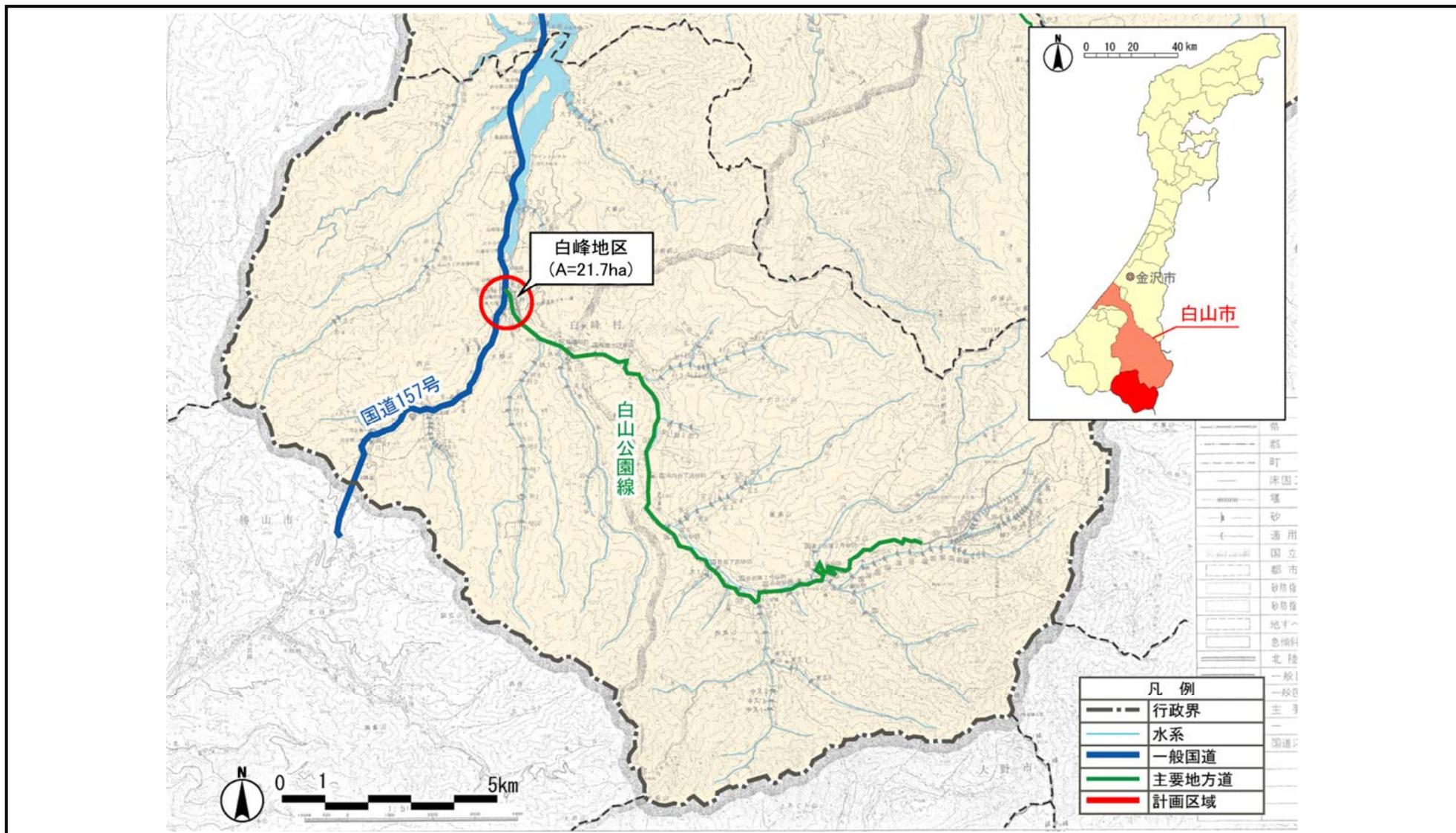


雪だるままつり



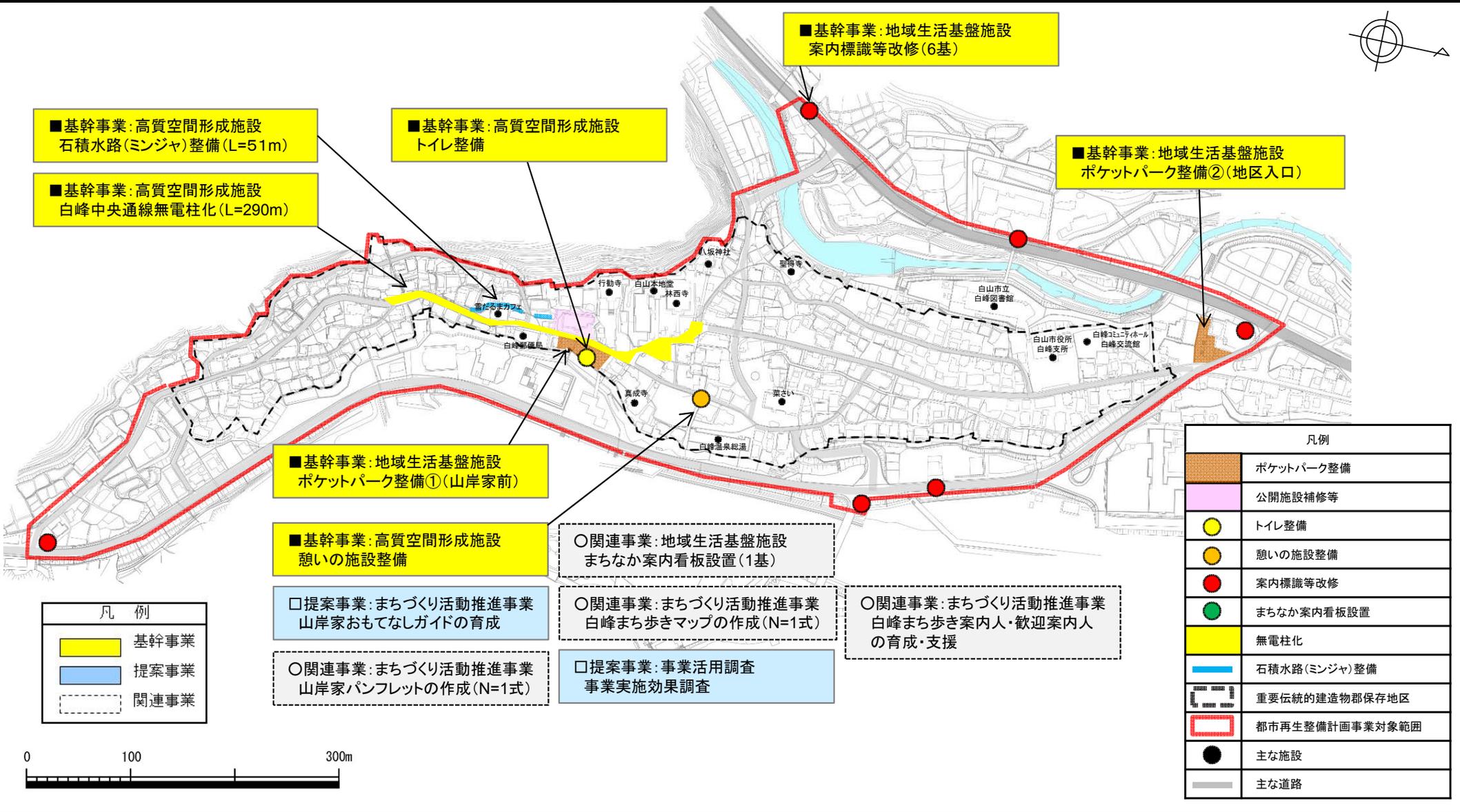
都市再生整備計画の区域

白峰地区(第二期)(石川県白山市)	面積 21.7 ha	区域 石川県白山市白峰の一部
-------------------	---------------	-------------------



白峰地区第二期(石川県白山市) 整備方針概要図

目標	目標① : まちなかの回遊性の向上	代表的な指標	休日のまちなか歩行者数 (人/8h)	136 (26年度)	→	145 (31年度)
	目標② : 交流人口の増加		観光施設入込客数 (人/年)	117,868 (25年度)	→	124,000 (31年度)
	目標③ : まちづくり活動の活性化		地区祭りの参加者数 (人/年)	13,600 (25年度)	→	13,600 (31年度)

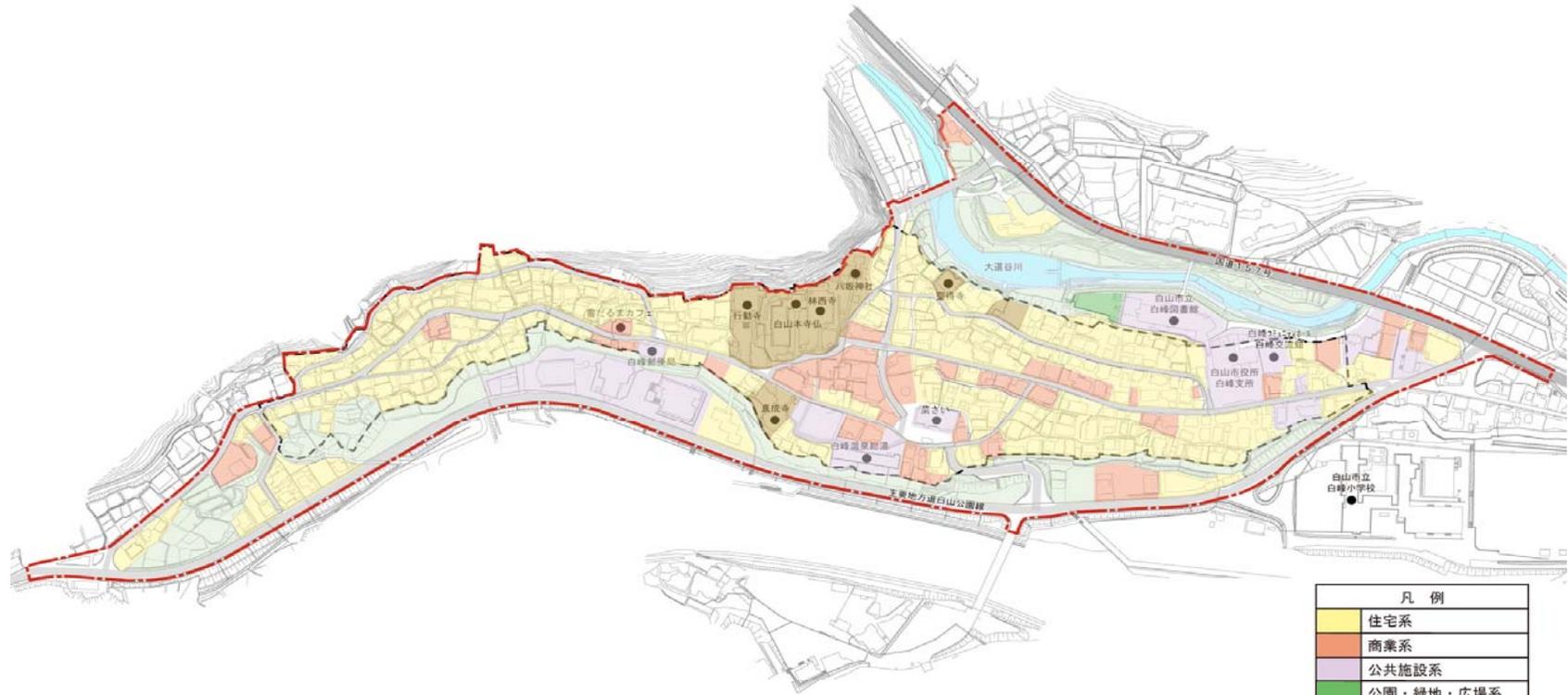


都市再生整備計画の添付書類等

交付対象事業別概要

しらみね 白峰地区 だいに き (第二期) いしかわ はくさん (石川県白山市)

白峰地区(第二期)(石川県白山市) 現況図



凡例	
	住宅系
	商業系
	公共施設系
	公園・緑地・広場系
	山地・空地
	社寺
	白峰重要伝統的建造物群保存地区
	都市再生整備計画区域
	主な施設
	主な道路



交付限度額算定表(その1)

白峰地区(第二期)(石川県白山市)

要綱第Ⅲ編イ-10-(1)に掲げる式による交付限度額(X)	128.4 百万円	規則第16条第1項に基づく交付限度額(Y)	736.0 百万円	X ≤ Yゆえ、本計画における交付限度額	128.4 百万円
-------------------------------	-----------	-----------------------	-----------	----------------------	-----------

規則第16条第1項に基づく限度額算定

Au 86,800 m² 公共施設の上限整備水準

区域面積(m ²)	217,000
当該区域の特性に応じて国土交通大臣が定める割合	
区域の面積が10ha未満の地区	0.50
最近の国勢調査の結果による人口集中地区内	0.45
その他の地域	0.40

Ci 8,100 円/m² 単位面積あたりの標準的な用地費

標準地点数	1
公示価格の平均値(円/m ²)	8,100
単位面積あたりの標準的な補償費	
当該区域内の戸数密度(戸/m ²)	0.000
標準補償費(円/戸)	44,000,000

Cf 23,000 円/m²

控除額 0 百万円

まちづくり交付金とは別に国庫補助事業等により整備する施設

施設名(事業名)	面積(m ²)	国庫補助事業費等(百万円)
合計	0	0

要綱第5に掲げる式による限度額算定

<社会資本整備総合交付金>

交付対象事業費	基幹事業(A)	318.9 百万円
	提案事業(B)	2.2 百万円
		321.1

Ap 39,456 m² 公共施設の現況整備水準

整備水準が明らかになっている類似市街地等からの推定	
推定現況整備水準(小数第2位まで)	
推定公共施設面積(m ²)	0

On 個別公共施設の積み上げ

	面積(m ²)	割合
道路	38,652	0.18
公園	0	0
広場	804	0
緑地	0	0
公共施設合計	39,456	0.18

Cnを考慮しない場合の交付限度額(Y1) 736 百万円

ΣCn 0 円

下水道	0 円
区域面積(m ²)	217,000
うち現況の供用済み区域面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	3,600

地域交流センター等の公益施設(建築物) 0 円

上限床面積(m ²)	9,400
標準整備費(円/m ²)	388,100

調整池 0 円

調整池の容積(m ³)	
標準整備費(円/m ³)	140,000

河川 0 円

河川整備延長(m)	
標準整備費(円/m)	3,700,000

住宅施設 0 円

建設予定戸数(戸)	超高層	
	一般	
	合計	0
標準整備費(円/戸)	超高層	一般
北海道特別地区	41,310,000	33,500,000
北海道一般地区	38,190,000	30,990,000
特別地区	49,120,000	35,690,000
大都市地区	37,170,000	30,180,000
多雪寒冷地区	41,510,000	32,370,000
奄美地区	39,520,000	35,640,000
沖縄地区	30,280,000	30,280,000
一般地区	33,700,000	28,640,000

市街地再開発事業による施設建築物 0 円

施設建築物の延べ面積(m ²)	
標準共同施設整備費(円/m ²)	132,000

電線共同溝等 0 円

電線共同溝等延長(m)	
標準整備費(円/m)	680,000

人工地盤 0 円

人工地盤の延べ面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	5,300,000

協議して額を定める大規模構造物等 0 円

大規模構造物等	協議状況	整備費(円)

Cnを考慮した場合の交付限度額(Y2) 736 百万円

[1]式	$\alpha 1=4(A+B)/5=$	256.8
[2]式	$\alpha 2=10A/9=$	354.3
		128.4

- 交付要綱第5 3)式の適用[提案事業2割拡充]
- 平成20年度二次補正予算の執行
- 交付要綱第5 4)式の適用[中活等の45%拡充]
- 交付要綱第5 5)式・6)式の適用[リノベ事業の50%拡充]

交付限度額算定表(その2)

白峰地区(第二期) (石川県白山市)

要綱第三編イ-10-(1)に掲げる式による限度額算定(詳細)

※水色のセルに事業費等必要事項を入力して下さい。(百万円単位)

単位:百万円

○交付対象事業費(必ず入力) (百万円) (百万円)

交付対象事業費	基幹事業合計(A)	318.900	A (事業費)	1)式で求まる額(4/10*(A+B))	128.440	① (国費)
	提案事業合計(B)	2.200	B (事業費)	2)式で求まる額(5/9*A)	177.167	② (国費)
	合計(A+B)	321.100	(事業費)	上記①、②の小さい方	128.440	③ (国費)
	提案事業割合(B/(A+B))	0.007		国費率(③÷(A+B))	0.400	④ (国費率)

○拡充の有無

以下の3つの拡充のうち、いずれかの拡充がある場合は、該当する欄に○を記入し、事業費等を入力。

・3)式の適用[提案事業2割拡充]		(選択)	⇒	③)式で求まる額(5/8*A)	0.000	⑤ (国費)
・平成20年度二次補正予算の執行		(選択)		③)式の適用後(適用がある場合は3式反映)	128.440	⑥ (国費)
・4)式の適用[中活等の45%拡充]		(選択)		③)式適用後の国費率(⑥÷(A+B))	0.400	⑦ (国費率)

○拡充がある場合の事業費等

平成20年度二次補正の執行がある場合及び4)式の適用がある場合は、以下に事業費等を入力。

平成20年度二次補正の執行がある場合	防災対象事業(A')		A' (事業費)	⇒	③をA'に置き換えた額(A⇒(A-A')+9/8*A')	128.440	⑧ (国費)
	補正予算の執行額		(国費)		執行額を足した額	128.440	⑨ (国費)
					補正適用後(上記⑧、⑨の小さい方)	128.440	⑩ (国費)
					補正適用後の国費率(⑩÷(A+B))	0.400	⑪ (国費率)

4)式の適用を受ける場合	計画の認定等の年度末までの執行事業費(F)		F (事業費)	⇒	適用前の国費率(⑩÷(A+B))	0.400	⑫ (国費率)
	適用対象となる交付対象事業費(A''+B'')	0.000	(事業費)		適用対象事業費から求まる限度額	0.000	⑬ (国費)
	適用対象となる基幹事業合計(A'')		A'' (事業費)		適用後の国費率(⑬÷(A''+B''))	#DIV/0!	⑭ (国費率)
	適用対象となる提案事業合計(B'')		B'' (事業費)		4)式適用後の限度額(⑫×F+⑭×H)	#DIV/0!	⑮ (国費)

※4)式の適用を受ける場合で、経過措置を適用しない場合(H21以降新規地区)は、Fの欄を記入せず、A''、B''を記入し、A''=A、B''=B、H=A''+B''=A+Bとなる。

↓

拡充も考慮した交付限度額	128.440	⑯ (国費)
--------------	---------	--------

○交付限度額、国費率の算出

交付対象事業費(A+B)	321.1	(事業費)	⇒	交付要綱第5に基づく交付限度額(⑯を1万円の位を切り捨て)	128.4	⑰ (国費)
				国費率	0.400	⑱ (国費率)

様式8 年次計画

(事業費:百万円)

事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
細項目									
道路									
公園									
古都及び緑地保全事業									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設		ポケットパーク整備①(山岸家前)	白山市	11.3			3.3		8.0
		ポケットパーク整備②(地区入口)	白山市	31.5		31.5			
		案内標識等改修	白山市	0.7	0.7				
高質空間形成施設		白峰中央通線無電柱化	白山市	232.4		7.5	58.1	93.6	73.2
		石積水路(ミンジャ)整備	白山市	14.1	14.1				
		憩いの施設整備	白山市	0.9	0.9				
		トイレ整備	白山市	28.0				28.0	
高次都市施設									
既存建造物活用事業									
中心拠点誘導施設									
生活拠点誘導施設									
高齢者交流拠点誘導施設									
土地区画整理事業									
市街地再開発事業									
住宅街区整備事業									
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備促進事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型								
	沿道等整備型								
	密集住宅市街地整備型								
	耐震改修促進型								
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									
計				318.9	15.7	39.0	61.4	121.6	81.2

提案事業									
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業活用 調査	事業実施効果調査	—	白山市	2.0					2.0
まちづくり活 動推進事業	山岸家おもてなしガイドの育成	—	白山市	0.2	0.2				
計				2.2	0.2	0.0	0.0	0.0	2.0
合計				321.1	15.9	39.0	61.4	121.6	83.2
累計進捗率 (%)					5.0%	17.1%	36.2%	74.1%	100.0%

地域生活基盤施設

単位:百万円

交付対象施設	施設名 (路線名等)	事業主体	概要 (面積、幅員、 延長、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳				備考
					設計費	用地費	施設整備費	うち購入費	
緑地									
広場	ポケットパーク ① (山岸家前)	白山市	A=463㎡	11.3	1.9	1.4	8.0	-	
	ポケットパーク ② (地区入口)	白山市	A=910㎡	31.5	2.1	-	29.4	-	
駐車場									
自転車駐車場									
荷物共同集配施設									
公開空地									
情報板	案内標識等改修	白山市	N = 6 基	0.7	-	-	0.7	-	
地域防災施設	施設種別:								
人工地盤									
合計	-	-	-	43.5	4.0	1.4	38.1		

- ・施設名ごとに1行ずつ記入。足りない場合は、適宜行を追加すること。
- ・「事業主体」欄には、事業の施行者を記入。(間接交付の場合は、交付金事業者ではなく、「第三セクター」等の施行者を記入。)
- ・「駐車場」、「自転車駐車場」については、「概要」欄に、形式(立体〇層、タワーパーキング、地下駐輪場等)、面積及び駐車台数を記入。
- ・駐車場については、「備考」欄に駐車場全体の整備に要する費用を記入。
- ・自転車駐車場については、「備考」欄に都市計画決定の有無、自転車駐車施設整備計画における位置づけの有無、自転車駐車場に関する附置義務条例等における位置づけの有無を記入すること。
- ・地域防災施設の「施設名」欄には、耐水性貯水槽、備蓄倉庫、放送施設、情報通信施設、発電施設、排水再利用施設、避難空間等の施設の種別を記入。
- ・共同駐車場については、別の所定のシートに記載すること。

地域生活基盤施設

【ポケットパーク整備箇所】



ポケットパーク整備①(山岸家前)
(A=463㎡)



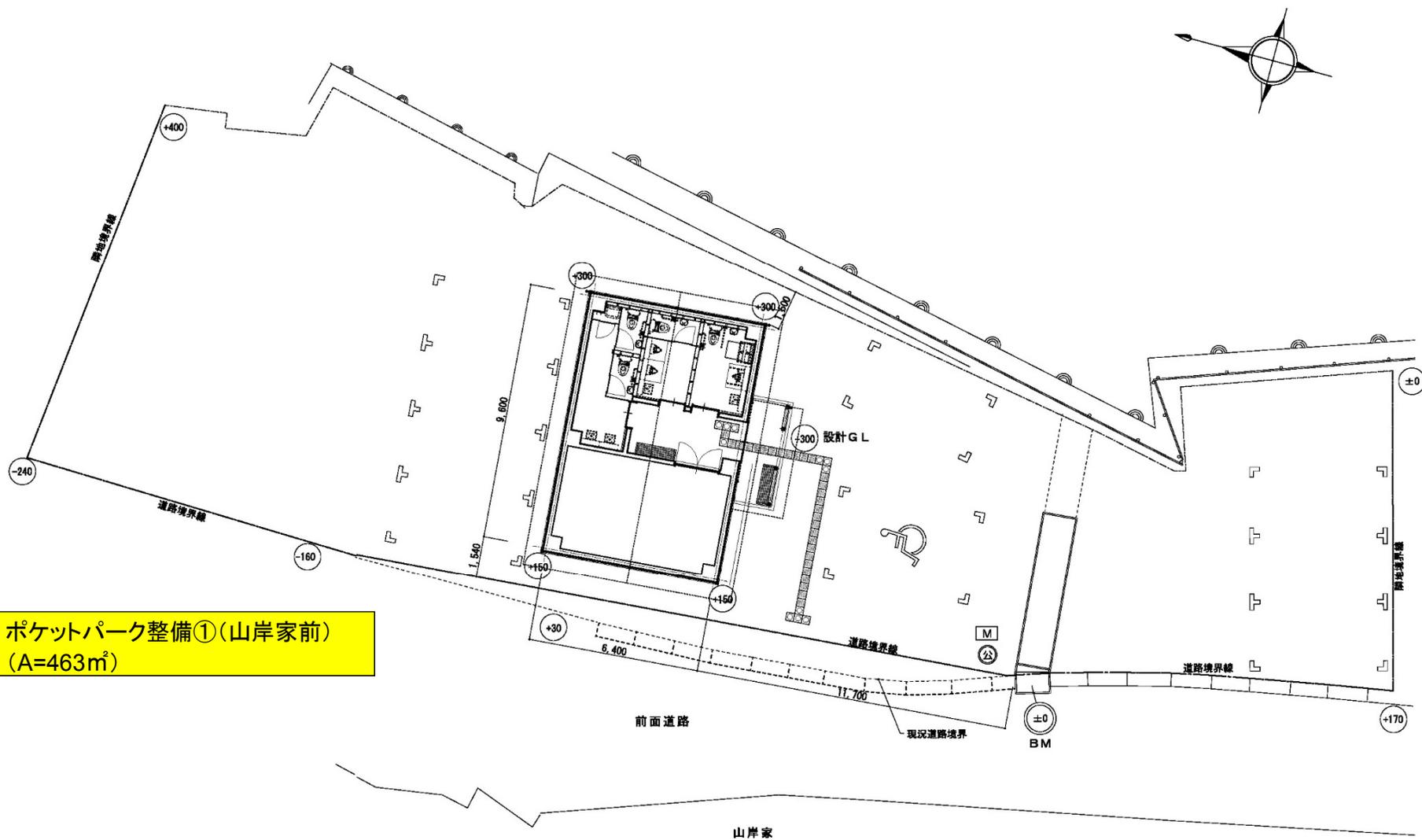
ポケットパーク整備②(地区入口)
(A=910㎡)



	重要伝統的建造物群保存地区
	都市再生整備計画事業対象範
	主な施設
	主な道路



地域生活基盤施設

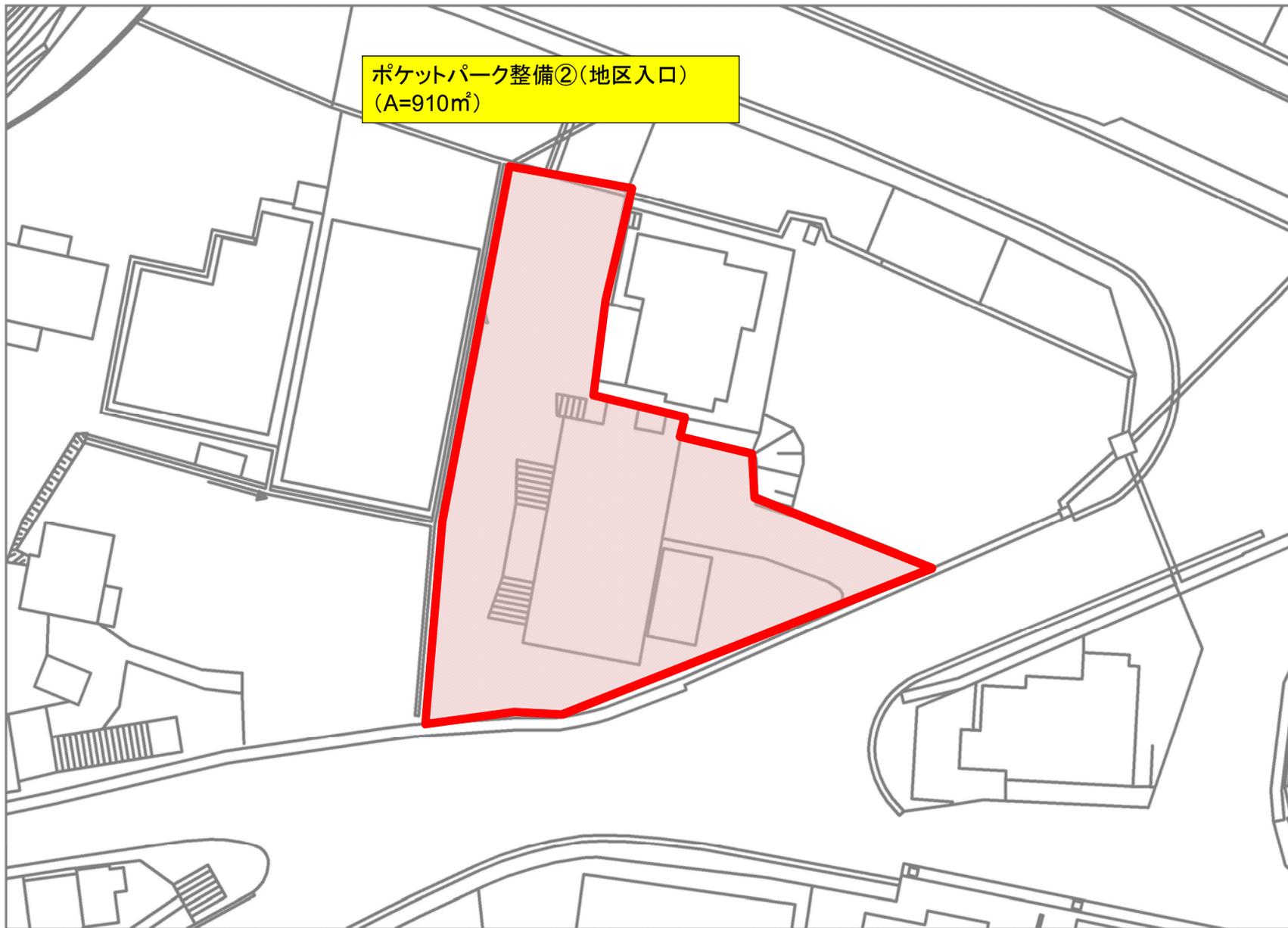


ポケットパーク整備①(山岸家前)
(A=463m²)

山岸家

地域生活基盤施設

ポケットパーク整備②(地区入口)
(A=910㎡)



地域生活基盤施設

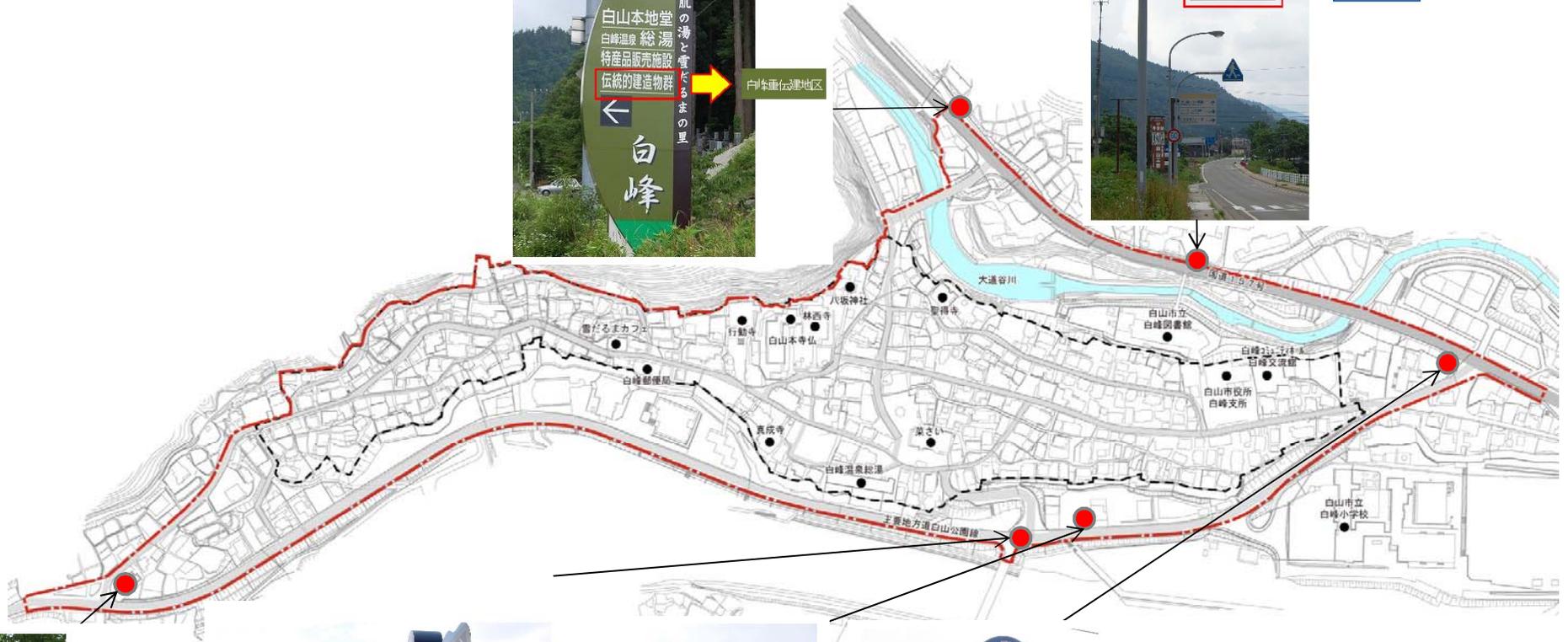
案内標識改修(6基)



白峰重伝建地区



白峰重伝建地区
白峰温泉総湯



白峰重伝建地区



白峰重伝建地区



白峰重伝建地区
白峰温泉総湯



白峰重伝建地区

	重要伝統的建造物群保存地区
	都市再生整備計画事業対象範
	主な施設
	主な道路



高質空間形成施設

単位:百万円

交付対象施設	施設名	事業主体	概要 (箇所数、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳			備考
					設計費	用地費	施設整備費	
緑化施設等(植栽・ 緑化施設、せせらぎ・ カスケード、カラー舗 装・石畳、照明施設、 ストリートファニ チャー・モニュメント 等)	石積水路(ミンジャ) 整備	白山市	L=51m	14.1	0.9	-	13.2	
	憩いの施設整備	白山市	1箇所	0.9	-	-	0.9	
電線類地下埋設施設	白峰中央通線	白山市	L=290m W=4.0-6.0m	232.4	7.5	-	224.9	
電柱電線類移設								
地域冷暖房施設								
歩行支援施設、障害 者誘導施設等	トイレ整備	白山市	1箇所	28.0	-	-	28.0	
合計	-	-	-	275.4	8.4		267.0	

高質空間形成施設

【石積水路(ミンジャ)整備



石積水路(ミンジャ)整備 (L=51m)



【対象路線の現況】



	重要伝統的建造物群保存地区
	都市再生整備計画事業対象範
	主な施設
	主な道路

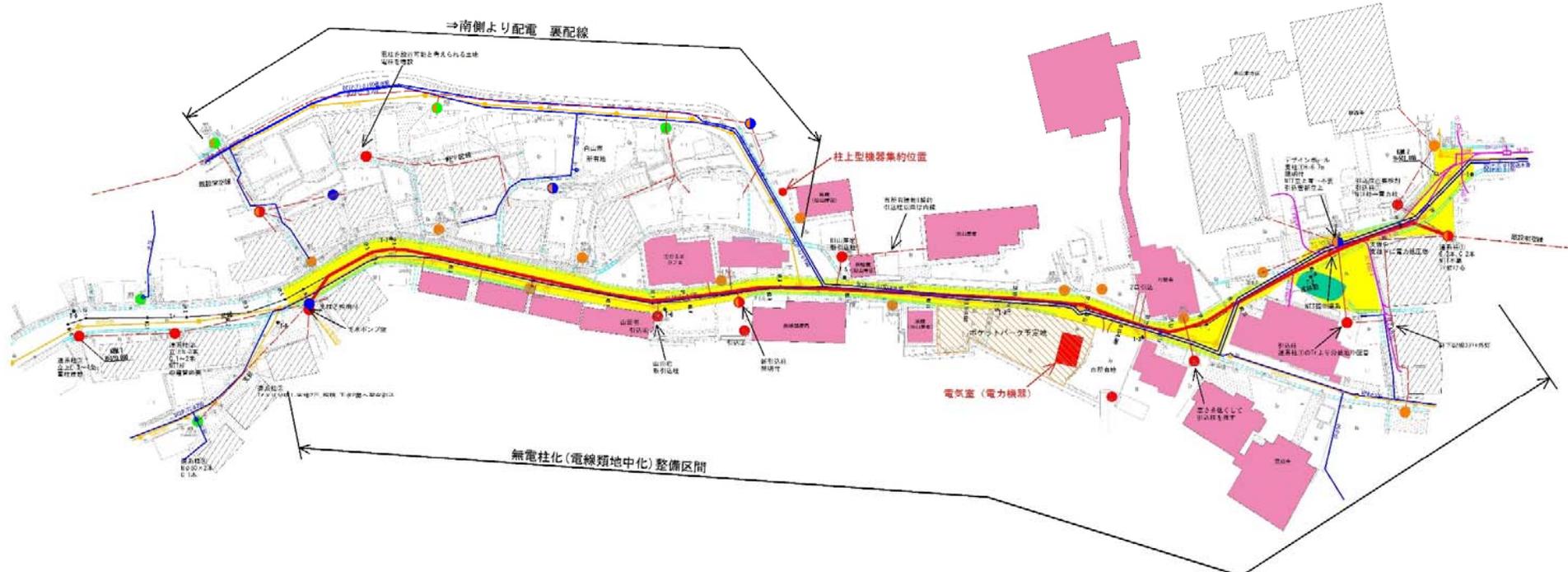
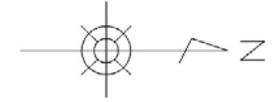


高質空間形成施設

無電柱化工法

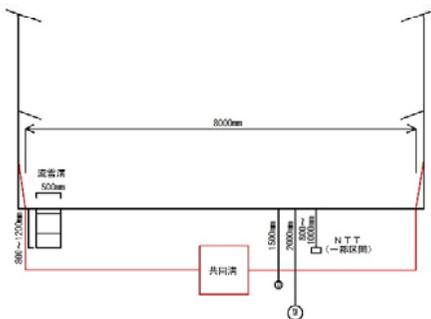
白峰地区無電柱化（電線類地中化）整備計画

S=1:1000(A3)



凡例	
	沿線家屋(地上線より地中配管)
	沿線家屋(引込電柱Trより架設)
	運系柱、引込柱
	既設電柱
	支柱
	照明灯
	無電柱化検討区間(290m)
	電線類地中管路
	架設線及び支線
	N T T
	下水道
	上水道
	既設水路

標準断面図



高質空間形成施設

